

# 第 26 回高松市バドミントン協会長杯中学生大会

- 1 主 催 主 催 高松市バドミントン協会
- 2 主 管 高松市バドミントン協会中学生連盟
- 3 日 時 令和 6 年 9 月 8 日 (日) 8 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0 ( 8 : 0 0 開場)
- 4 会 場 西部運動センター体育館

## 5 競技・審判上の注意

- (1) 現行(公財)日本バドミントン協会競技規則及び大会運営規程に基づき試合を行います。
- (2) マッチ(試合)の進行状況にあわせて、試合番号、団体名、使用コートコールしますので、放送にはご注意ください。
- (3) 各コートエンドラインの後ろにコーチング席を 2 席設置します。監督、コーチはマッチにふさわしい服装で臨んでください。
- (4) 公式練習は開場後、開会式前に 5 分間ずつで行います。
- (5) マッチ中のけがや病気に対しては、主審が判断します。出血がある場合は止血を認めます。痙攣等はプレーを続けるか棄権するかを判断してください。主審は必要に応じて競技役員を呼んで判断します。※
- (6) シャトルの交換については主審が判断しますので、主審の指示に従ってください。
- (7) マッチ中の水分補給、汗ふき、ラケットの交換、靴ひもの締め直し等、プレーを中断する場合は、必ず主審の許可を得てください。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみ認めます。
  - ドリンク容器は倒れてもこぼれない蓋付きボトルを使用し、各自で持参したバッグに入れて使用する。
  - 氷嚢は、コーチング席で保冷バッグ等に入れ、保管する。
- (8) 競技規則第 16 条 7 項の規定により、以下のような行為は警告、フォルト又は失格となりますので注意してください。
  - プレーを故意に遅らせたり、中断したりすること。
  - 故意にシャトルに手を加えて破損したりすること。
  - 見苦しい服装でのプレー、審判員や観客に対する横柄な態度など下品で無礼な態度。
- (9) 審判の判定に抗議や異議を唱えることは一切認めません。もし、判定に対して疑問のある場合には、次のサービスが行われる前に質問をすることができます。このとき質問できるのは選手に限ります。
- (10) マッチ中、インプレーでないときのアドバイスはコーチング席から行います。インターバル時(ゲーム間 120 秒)のみコートサイドへ近づくことができます。
  - 監督・コーチが他のコートに移動する際は、インプレーでないときにしてください。
- (11) 競技フロア内での携帯電話等の使用は一切認めません。携帯電話等は、電源を切るかマナーモードにしてください。アドバイスやコーチングへの使用も一切認めません。
- (12) マッチ中の服装は、学校の体操服または(公財)日本バドミントン協会審査合格品とします。ユニフォームのときは、学校名・氏名の入ったゼッケンを四隅どめにつけます。
- (13) 今大会は、待機場所が非常に狭いので**無観客で実施**します。なお、審判として 2 名まで部員を帯同させることは許可します。※補助員で香東中学校の生徒が待機します。
- (14) **主審・線審は相互で行います**。どちらかのチームの審判が次の試合のスコアシートを本部から受け取り、速やかに試合を始めてください。